

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
地域文化論 Area Cultural		2年	後期	水曜日 1時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
観光学概論、観光事業論、地域観光論、経済学、日本の歴史と作法				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
観光事業論、国際観光論				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
國分三郎		本館2F	水曜日 13:00～14:00	授業中に指示します
授業の概要				
観光を文化の一部としてとらえ、地域社会における観光資源の意義を考える。特に、文化を活用した街づくりや村おこしのための伝統文化や歴史の役割を取り上げる。地域文化は地域の人々の暮らしや産業と密接に関わりを持っている。従って、ここでは、地域文化をより身近な事象としてとらえるために、栃木県および佐野市の地域文化を実践的に取り上げる。				
授業の到達目標				
①地域社会の振興における文化の意義を理解できるようにする。 ②地域文化を理解して街づくりや村おこしのための知識を修得できるようにする。 ③栃木県および佐野市の代表的な地域文化とその歴史的背景を理解できるようにする。				
授業の方法				
講義				
学習の成果				
この授業を履修すると、あなたは ①地域文化を活用した街づくりや村おこしの基本的な知識や手法を理解することができる。 ②地域文化の重要性を理解して自分の郷土の発展に貢献でき力を養うことができる。 ③栃木県および佐野市の伝統文化や産業を理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	地域社会における地域文化の意義			
第3回目	地域文化と地域の歴史、自然			
第4回目	地域文化と産業			
第5回目	地域文化と街づくり村おこし①			
第6回目	地域文化と街づくり村おこし②(佐野市を中心として)			

第7回目	地域文化の振興政策①(わが国、栃木県、その他)		
第8回目	地域文化の振興政策②(佐野市)		
第9回目	栃木県の風土と地域文化(県北の文化、県央の文化、県南の文化)		
第10回目	佐野市の歴史・風土と地域文化		
第11回目	佐野市の食文化(ラーメン、いもフライ、その他)		
第12回目	佐野市の伝統文化①(天命鋳物)		
第13回目	佐野市の伝統文化②(人形)		
第14回目	佐野市の地域文化を支えた人々		
第15回目	まとめ(一連の講座を振り返り、授業の補足すべき内容の説明や受講生からの質問に答える)		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		30%	最高水準(S)としては無遅刻無欠席で、授業に集中し講義への質問を積極的に行う。
レポート			
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験		70%	最高水準(S)としては、課題の意図を理解して、必要な専門用語を使い論理的一貫性をもって論述する。
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
教科書は使用しない。授業のたびに必要資料を配布して、それをもとに授業する			
履修上の心得・ルール			
観光ビジネス実務士資格の必修科目のため無断欠席や私語は慎むこと。無断欠席や私語は減点の対象。遅刻3回で無断欠席1回とする。			